科目名	国際看護と災害看護－国際看護	講師	専任教員
履修時期	3年　前期	単位数	1
		時間	30(内15)

＜科目設定理由＞

国際社会においては、持続可能な開発目標が掲げられ、継続的に解決策が講じられている. 反面で、国別に格差が著しく、日本も医療を含む国際協力を行っている. 日本では、人口減少から労働力を自国で賄えず、外国人労働者・在留外国人が増加している。また、経済連携協定（Economic Partnership Agreement；EPA）に基づき、医療・介護領域で看護職・介護職を受け入れている。看護の対象として外国人と関わる機会や、同じ現場でチームの一員として外国人と協働する機会も増加している. 患者としての対象であっても、同僚としての対象であっても、人間的関心を寄せて関わることに変わりがないものの、対象と関わるには、政治・経済・社会システム・保健医療福祉システム・文化・習慣・信条などの理解が重要である。国際看護活動における対象把握の要因と、国際的な健康問題を認識したうえで解決に向けて、対象の尊厳を守りつつ提供する看護活動を学ぶ。

学習目標	１．国際社会における保健医療福祉の動向を知る。 ２．国際的な健康課題と目標を理解する。 ３．看護の国際協力の意義について理解する。 ４．国際協力における看護師の基本的責務を理解する。
学習内容	1. 国際社会の保健医療福祉の動向 2. 国際社会における健康問題と課題 3. 異文化における健康観と保健行動 4. 看護の国際協力の組織、しくみ 国際看護の基本的理念と活動 青年海外協力隊、国際緊急援助隊 NGO、NPO 国際看護協会の活動
授業形態	講義、演習
評価方法および評価の観点	終講試験
テキスト	国際看護学入門　日本看護協会出版会
参考資料・図書	国民衛生の動向　、系統看護学講座　災害看護学・国際看護学　医学書院
履修上の留意事項・受講条件	世界の動向に気づき、学べるように、ニュースや新聞などトッピクスを知ること